

1 事業概要

		課名	生涯学習・スポーツ課	事業No.	305
		会計	一般会計		
事務事業名		恒川遺跡群保存活用事業	事業区分	政策	実施区分 継続
			開始	H13	終了
根拠	主要区分	主 記号 計画等名称			
	戦略計画	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす		
	分野別計画		史跡恒川官衙遺跡保存活用計画		
法令・例規等		文化財保護法			
		長野県文化財保護条例			
		飯田市文化財保護条例			
事業目的	対象	国史跡指定地を含む恒川遺跡群			
	意図	調査・研究して遺跡の実態を解明します。また、史跡指定地の公有地化の促進や整備基本計画の策定により、遺跡を適正に保存して活用します。			

2 事業内容

29年度取組	取組内容	経費の内容				事業費(千円)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 史跡専門委員会を5回開催し、H30年3月末に「史跡恒川官衙遺跡整備基本計画」を策定しました。 ・ 調査計画に基づく発掘調査を4箇所を実施し、個人住宅を除く3箇所で見学会を行いました。 ・ 史跡指定地の公有地化を進めました。 ・ 恒川清水の景観復元方針を検討するため、地質調査を行いました。 ・ 取得した土地の整地作業を行いました。 	整備基本計画等策定経費				2,131
保存目的調査費					17,220	
取得地整備費等					464	
用地取得費					219,340	
その他の経費					0	

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			実績	実績	実績	実績	実績
	史跡専門委員会の開催数	回	3	5			
	発掘調査実施箇所	箇所	2	4			
	公有地化面積	m ²	5,216.16	7,099.51			
	発掘調査現地見学会開催数	回	2	3			
	調査情報紙発行回数	回		8			

29年度決算(千円)	予算額		267,558	特定財源内訳及び補足事項			
	決算額		239,155	(国) 国宝重要文化財等保存整備費補助金 (1/2) 7,289千円			
	財源の状況	国庫支出金	182,760	(国) 史跡等購入費補助金 (4/5) 175,471千円			
		県支出金	0	(そ) ふるさと寄附金 600千円			
		地方債	0				
		その他	600	29→30 繰越明許費 26,834千円 (補助額 21,467千円)			
一般財源		55,795					

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 中 事業	中 事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	14	1	260,757	233,918	恒川遺跡群保存活用事業費(補助)
2	1	10	5	3	14	2	6,801	5,237	恒川遺跡群保存活用事業費(単独)
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	公有地化した土地の除草等適切な維持管理が課題となっています。また、来訪者に史跡の価値を正しく伝える整備を行う必要があり、「恒川清水」の整備については、かつての水を湛えた景観を復元して欲しいという地域要望に配慮して行う必要があります。
上記の課題解決のための有効策	除草等の維持管理については効率化のために整地すること、史跡の価値を正しく伝える整備については発掘調査による古代伊那郡衙の正確な姿を把握すること、地域要望の整備への反映については地域や関係団体等との意見交換等調整を図ることが必要と考えます。
次年度に向けての取り組み	史跡指定地の公有地化を引き続き進めるとともに、効率的な維持管理を行います。恒川清水及び周辺の発掘調査と報告書作成、井戸等水文調査を進めます。また、正倉院の発掘調査を進め、正倉建物復元のためのデータ取得を進めます。地域や関係団体等と意見交換を行い、清水エリアの基本設計を進めます。